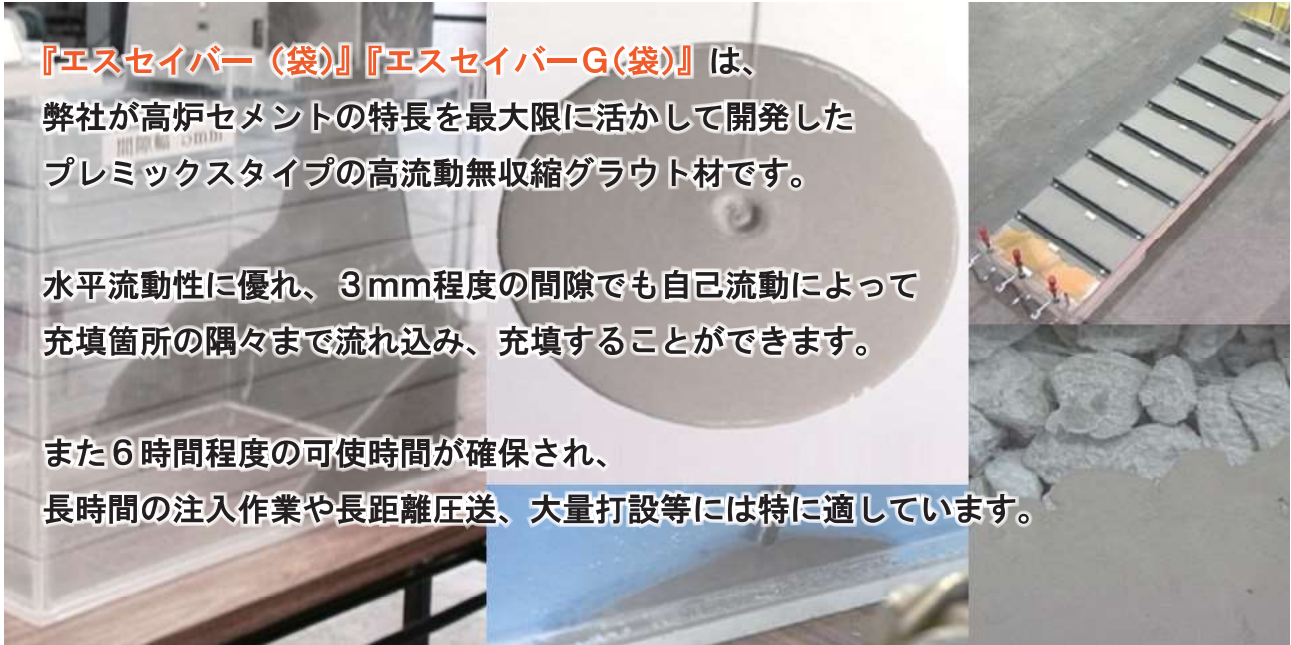


製品の概要



『エッセイバー(袋)』『エッセイバーG(袋)』は、
弊社が高炉セメントの特長を最大限に活かして開発した
プレミックスタイプの高流動無収縮グラウト材です。

水平流動性に優れ、3mm程度の間隙でも自己流動によって
充填箇所の隅々まで流れ込み、充填することができます。

また6時間程度の可使用時間が確保され、
長時間の注入作業や長距離圧送、大量打設等には特に適しています。

製品の特長

- **プレミックス**
荷姿は、紙袋(25kg入)です。
現場では所定量の水と練り混ぜるだけで品質の安定したグラウト材が作れます。
- **流動性・充填性**
フロー値が非常に大きく、水平流動性・自己流動性に優れています。
3mm程度の間隙幅への注入・充填が可能です。
- **無収縮・ノンブリーディング**
適度な膨張を示し、封かん(密閉)状態ならば長期的に無収縮を保ちます。
また適度な粘性があり、ブリーディングや材料分離が発生しません。
施工後の沈下・収縮を防ぎ、構造物との一体化が図れます。
- **施工性**
注入口に制約を受ける場合や打ち下ろしでも施工に支障はありません。
モルタルポンプによる長距離圧送、トレミー工法による水中施工も可能です。
可使用時間(流動性の保持時間)は6時間程度です。
- **耐久性**
高炉セメントを使用しているため、長期的に強度が増進し、耐久性にも優れます。

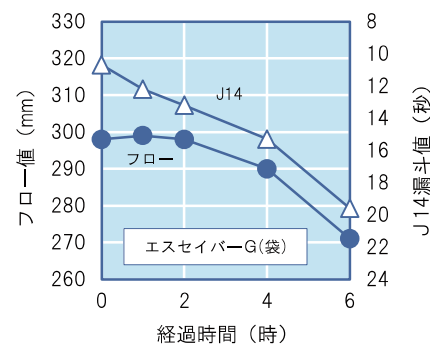
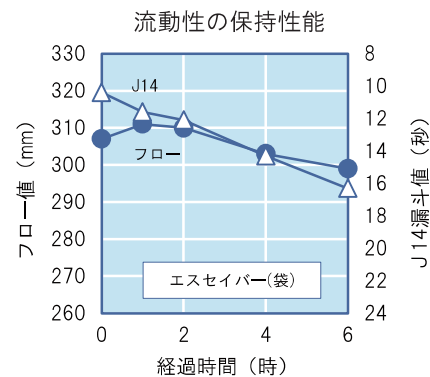
標準配合

		水結合材比	練混ぜ水量	プレミックス材	備考
エッセイバー(袋)	1袋当たり	約53%	5.3kg/袋	25.0kg/袋	1m ³ 当たり袋数 : 約69袋
	1m ³ 当たり		370kg/m ³	1750kg/m ³	
エッセイバーG(袋)	1袋当たり	約45%	5.3kg/袋	25.0kg/袋	1m ³ 当たり袋数 : 約70袋
	1m ³ 当たり		370kg/m ³	1750kg/m ³	

エッセイバー（袋）、エッセイバーG（袋）の物性値

		エッセイバー（袋）	エッセイバーG（袋）	試験方法
練混ぜ水量 (kg/袋)		5.3	5.3	—
単位容積質量 (g/cm ³)		2.11	2.12	JIS A 1116
フロー値 (mm)		305	298	簡易テーブルフロー (φ5×10cm)
J14 漏斗値 (秒)		10.6	10.7	JSCE-F541
凝結時間	始発	14:50	13:40	JIS R 5201
	終結	18:15	16:55	
ブリーディング率 (%)		0.0	0.0	JSCE-F522
長さ変化率 (%)	28日	+0.04	+0.04	JIS A 1129 (封かん状態)
圧縮強度 (N/mm ²)	7日	29.7	32.2	JSCE-G505
	28日	52.7	64.6	

※上記の物性値は 20℃恒温室で試験した測定例であり、性能を保証するものではありません。また改良のため予告なく変更する場合があります。



使用上の注意

- ◆練混ぜ水量は、1 袋 (25kg) に対して、5.0 ～ 5.6kg です。練混ぜ水には、油・塩類・有機物等を含まない清浄な水を使用して下さい。
- ◆練混ぜには、高速グラウトミキサまたは回転数 1000rpm 以上の高速ハンドミキサをご使用下さい。
- ◆適切な練混ぜ時間は、概ね 3 ～ 4 分程度です。季節、ミキサの種類によっても流動性が変化しますので、ご使用の際は事前に試験練りを行って適切な水量および練混ぜ時間を確認して下さい。
- ◆流動性が非常に高いため、施工時は型枠等の隙間を塞いで漏出を防止して下さい (1mm 程度の隙間であれば漏出は止まります)。また、グラウトの密度 (約 2.1g/cm³) による液圧を考慮して、型枠等のタワミを防止して下さい。
- ◆施工後は暴露環境におかれぬよう適切な養生を行って下さい。圧縮強度用の供試体は、採取直後にラップ等で密封して水分蒸発を防いで下さい。施工直後に著しい乾燥を受けると、痩せやクラックを生じる場合があります。
- ◆外気温が著しく低い場合には、5℃以上となるよう保温養生を行って下さい。

取扱い上の注意

- ・本製品を取り扱う際には、安全データシート (SDS) をお読み下さい。
- ・本製品はセメントを使用しており、水と接触すると強いアルカリ性を示します。長時間皮膚に付けないよう、目や鼻や口に入れないようご注意ください。万一入った場合は直ちによく洗浄し、症状に応じて専門医の診断を受けて下さい。
- ・その他ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせ下さい。

(2017年9月1日改定)

日鉄住金高炉セメント株式会社

東京グループ 〒104-0033 中央区新川1丁目16番14号(アクロス新川ビルアネックス1F) ☎03-3523-0947～8
 名古屋グループ 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目26-13(ちとせビル8F) ☎052-485-5748
 大阪グループ 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2丁目3番3号(桜橋西ビル9F) ☎06-6342-5880
 九州グループ 〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号(博多NSビル2F) ☎092-283-0311
 本社SL事業部 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町16番地 ☎093-563-5118